

集出荷選果施設の整備による労働時間の短縮による規模拡大等による担い手の育成

事業名：経営構造対策事業（平成 12 年度認定）
 地区名：愛知県豊橋市豊橋北東部地区
 事業主体：豊橋農業協同組合
 施設名：農畜産物集出荷貯蔵施設 1 棟 6,208 m²（H 13・14）
 事業費：1,057,875 千円（国費：503,749 千円）

1. 管理主体の概要

- (1) 組織名：豊橋農業協同組合 第六事業所
 (2) 連絡先： 0532-88-4455
<http://www.ja-toyohashi.com>

2. 取組概要

(1) 施設導入経緯

豊橋北東部地区は、柿を中心とした果樹栽培の盛んな地域であるが、都市化の進展により農家戸数の減少（H2:1,512 名 H7:1,437 名）、高齢化が進み担い手不足が進行（基幹男子農業専従者のいる農家H2:180 名 H7:126 名）していた。

また、既存の出荷施設は家庭での選別が必要なことと、箱詰めにも多くの労力が必要なことから選果場への出役が負担になっており、規模拡大による経営の安定を図る農家の障害となっていた。

(2) 取組概要

平成 13・14 年度から経営構造対策事業により整備した農畜産物集出荷貯蔵施設（柿等集出荷選果施設）の整備により、柿等生産農家の出役による労力の軽減を図り、規模拡大や高品質な果樹の生産への取り組みを推進し、効率的・安定的な農業経営体の育成を支援し

ているところである。

このような取り組みの結果、事業実施 4 年度目にして農家の 10a 当たりの労働時間が 174 時間から 141 時間と大幅に減少し、認定農業者が 8 名から 49 名に大幅に増加したところである。

今後は、軽減された労働力をさらに高品質な果樹等の生産や規模拡大等にふり向ける取り組みを行い、所得の向上による経営の安定により、更なる担い手の育成を図っている。

3. 目標設定

(1) 全国共通目標

認定農業者の育成					担い手への農地の利用集積 上段：集積率（%）、下段：面積（ha）			遊休農地の 解消	
計画時 （人）	目標 （人）	増加率 （%）	市町村目標割 合（%）	地区目標割合 （%）	計画時	目標	増加率 （%）	計画時 （ha）	目標 （ha）
8	50	625.0	8.9	3.5	(21.9%) 234.0	(39.9%) 425.3	17.9	0.0	0.0

(2) 地区選択目標

労働時間の短縮		所得の向上	
計画時(hr/10a)	目標(hr/10a)	計画時(千円/年)	目標(千円/年)
175.0	139.0	3,863	4,056

整備施設

施設全景



施設内部（作業風景）

